

・・・ 夢と笑顔と元気に満ちあふれ 校歌が響き合う 深谷小学校 ・・・

夢 → 理想 → 信念 → 計画 → 実行 → 成果 → 幸福

「夢七訓」より

## 続けることで「本物」になる ～1年間の成長～



寒さの中にも春の足音を感じる季節となりました。1年生が鉢で育てているチューリップも大きな芽を出し始めています。花が咲くのが楽しみです。

さて、朝の立哨指導で、北門の先、公民館裏の横断歩道に立っている時のことです。毎朝お世話になっている交通指導員の仁木さんからこんなことを言われました。「彼は6年生？ くらいよね。あいさつする時、必ず立ち止まってあいさつをするんだよ。」「でも、横断歩道の途中で立ち止まると、ちょっと困っちゃうね。」と笑いながら私に話してくれました。実際に6年生 A さんの立ち止まりあいさつを見て、私もとてもうれしくなりました。そして、改めて考えさせられたのは、「続けることで『本物』になる」という言葉です。最初は意識しての行動かも知れませんが、それを続けることによって、意識せずに行動できることがあります。それは、学習も同じです。最初は分からなかったことも、何度も繰り返すことで習得し、理解を深めることができます。まさに、それは成長そのものです。

今、3学期最後の暗唱で、一人一人の児童が校長室に暗唱をしに来ています。合格すると、個人の暗唱カードにキラキラシール、校長室にある全校の顔写真に金シールを貼っています。1学期は、校長室に入るのもたどたどしかった1年生、今は入退出時のしっかりしたあいさつ、一人での堂々とした暗唱、そして合格した時の笑顔と、本当に微笑ましい光景です。この姿も「続けることで『本物』になる」の一場面、1年間の大きな成長だと思います。

本年度も残り1か月あまり、「続けることで『本物』になる」そんな「深小っ子」の成長した姿を学習面や生活面等で、保護者や地域の皆さんにお見せできるよう、子供たちに寄り添いながら、指導・支援の充実を図ってまいります。

## 第4回学校運営協議会 ～学校風土の醸成～



教室訪問の様子

2月17日（火）に第4回学校運営協議会を開催しました。今回は第2回学校評価の結果や本校の教職員の「働き方改革」、令和8年度の学校経営方針（案）等について熟議をしていただきました。熟議から分かる委員の皆様の「深谷小を愛する思い」に、いつも敬服いたします。協議会で再認識したのは、「学校風土」についてです。退職校長先生に教えていただいたのですが、教職員は長くてもその学校に関わるのは10年、それに対して、子供、保護者、地域の方はずっと関わりをもちます。そこで教職員を「風」、地域を「土」に例え、学校風土が形成されるということ。風が土に合う新しいものを運んで来て、実り豊かな大地になるということです。そのためにも「風」と「土」が互いに理解し合うことが大切です。委員の皆様の熟議する姿から、深谷小の学校運営協議会は、本校の学校風土の醸成に大きく寄与していただいていると考えます。

